

卒業証書授与式

3月7日に、卒業証書授与式を挙りました。各務原市長公室長 平工泰聡様、各務原市教育長 加藤壽志様を始め、多くのご来賓の皆様にご臨席賜りました。また、平工様には、浅野市長様の祝辞を代読していただきました。

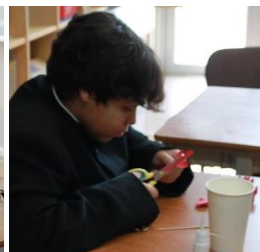


実は、3年生の生徒たちは、体育館へ入場する前に、教室で保護者の皆さまからの手紙を読んでいた。どの生徒も、保護者の方からの手紙に感動して号泣していました。中には「涙で手紙が読めません！！」と言っている生徒もいたほどでした。保護者の方からの熱い思いを胸に、式場へと向かいました。

3年生の生徒が付けているコサージュは、「あゆみ学級」の皆さんが作成したものです。バラの花の中心部分を1個作るのに、1時間近くかかるそうです。（3年生のカキツカタイナさんは、現在、1時間で5個作ることができます。すごいですね。）それに、周りの花びらや葉、リボンやピンなどを付けると・・・あゆみ学級の皆さんは、時間をかけて丁寧に製作したものを、3年生にプレゼントしてくれました。



3年生に贈呈





「卒業生のことば」では、卒業生を代表して、野田敦生さんと渡邊春斗さんが話をしました。

「今日という日は、119人一人一人が新たな自分への道のスタートを切る決意の日でもあります。明日も学校があり、教室に入るといつも通りの仲間がいて、みんなと他愛もない話をしている気がします・・・。」から始まる卒業生のことばは、「なりたい自分」に向けて努力し続けてきた3年間のこと、仲間と作り上げる喜びを感じ続けてきたこと、現状に満足することなく

仲間のために仲間と共に努力し続けてきたことへと続いていきます。そして、

「生んでくれてありがとう」という保護者の方への感謝の思いを語ります。卒業生も、保護者も職員も、そして来賓の皆さまも、会場にいる全員が、感動で胸が一杯になりました。

2人の話は、「3年間で得た一人一人の『誇りある生き方』を礎にしっかりと歩いていこう」という決意のこもった言葉で締めくくられました・・・。

卒業式の後には、『卒業記念活動』がありました。山田紗愛さんによる活動の紹介の後、「信じる」「あなたへ」「大地讃頌」の3曲の合唱披露がありました。言葉にできないほど素晴らしいもの・・・とよく言われますが、まさにそのような合唱でした。迫力があり、強い思いのこもった素晴らしい合唱でした。

曲の合間には、学級の生徒から担任の先生へのメッセージ、後藤紗良さんによる保護者の方へのメッセージがありました。感動あふれる時間となりました。



卒業式の後、各学級で最後の学級活動が行われました。



最後のお別れの瞬間まで合唱を続ける3Aの生徒たち。
「誇り・感謝・決意」が伝わる歌声でした。